

文京区立中学校 不登校対応巡回教員の配置

区立全中学校において、不登校対応巡回教員による巡回が始まります

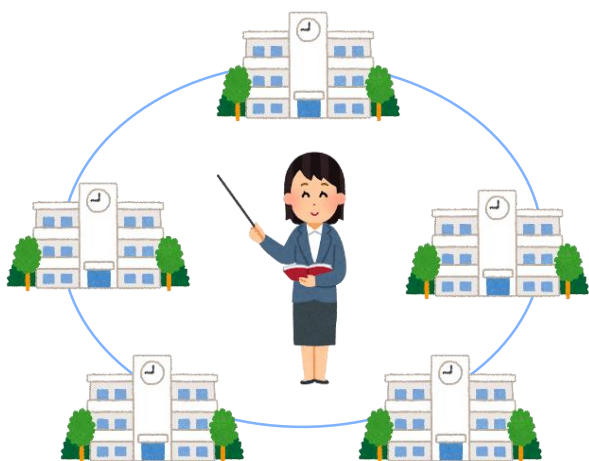
不登校児童・生徒への対応においては、多様で複雑な不登校の要因や背景をできる限り早期に、かつ的確に把握し、児童・生徒が不登校に至った状況を理解するとともに、学校と家庭、関係機関が連携のもと、段階に応じた支援や、個々の状況に応じた対応を行うことが重要となります。

令和7年度から不登校対応巡回教員の配置により、各中学校において全ての生徒が豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けることができるよう、学校における環境の充実及び整備が図られるようにするとともに、個々の不登校生徒の状況に応じた必要な支援の推進に取り組みます。

不登校対応巡回教員拠点校2校(第六中・茗台中)より、それぞれ矢印の先の学校への巡回を行います。

拠点校	→	巡回校
第六中学校	➡	第八中、第九中、文林中、本郷台中
茗台中学校	➡	第一中、第三中、第十中、音羽中

※令和7年5月12日(月)から巡回開始



【不登校対応巡回教員の役割】

不登校対応巡回教員が、巡回拠点校及び巡回校を巡回し、**不登校生徒の支援、魅力ある学校づくり及び不登校生徒の支援の助言等**をすることにより、校内における組織的な支援体制の整備について幅広く支援し、不登校の未然防止や不登校生徒への支援の充実を図ります。

※不登校対応巡回教員は、**校内の不登校対策の推進・助言等が職務**となります。保護者の面接や生徒へ直接的な指導は行わず、学校全体を幅広く支援します。